



3月定例会初日（3月10日）

平成25年度当初予算	2~3ページ
条例改正・条例制定	4ページ
一般質問	5~7ページ
人事案件・議会アンケート結果	7ページ
議員派遣報告	8ページ

## 簡易水道事業特別会計

歳入、歳出にそれぞれ前年度比11,770千円減の184,452千円が計上された。  
減額の要因は、建設改良費が減額になったため。

## 農業集落排水事業特別会計

歳入、歳出にそれぞれ前年度比3,500千円増の42,000千円が計上された。  
歳入の主なものは、中尾地区、西部地区の使用料として6,501千円が一般会計繰入金として35,453千円が計上された。  
歳出で運営費の主なものは、光熱水費等需用費7,050千円及び維持管理保守委託料等6,100千円が計上され、公債費については、元金18,984千円、利子7,779千円、計26,763千円が計上された。

## 漁業集落排水事業特別会計

歳入、歳出にそれぞれ前年度比200千円減の7,700千円が計上された。  
歳入は使用料及び手数料として2,509千円、一般会計繰入金5,182千円が計上された。  
歳出で運営費については、西部クリーンセンター等維持管理に係る諸経費3,974千円が、公債費については、3,396千円が計上された。

## 公共下水道事業特別会計

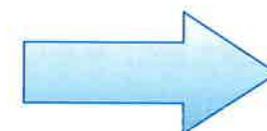
歳入、歳出にそれぞれ前年度比35,500千円増の422,800千円が計上された。  
歳入の主なものは、分担金及び負担金6,976千円、使用料及び手数料31,183千円であり、その他国庫負担金、繰入金、町債である。  
歳出の運営費については、処理場光熱水費5,657千円及び処理場維持管理委託料等14,679千円が計上された。  
また、建設費については、管渠等工事請負費212,898千円、移設補償費10,702千円。公債費については、償還元金53,517千円、償還利子37,412千円である。

## 東彼杵町議会委員会条例の一部を改正しました

常任委員会の組織の変更を行うことで、現行2常任委員会の所管範囲を平準化し、審査及び調査の充実を図るため。並びに、議会広報の充実を図るために下記のとおり改正しました。

(現行)

総務文教厚生常任委員会  
産業建設常任委員会  
議会広報編集特別委員会



(改正後)

総務厚生常任委員会  
産業建設文教常任委員会  
議会広報編集常任委員会

## 平成25年度当初予算を可決!

### 一般会計

予算の総額は4,438,000千円で対前年度比1.6% (68,000千円) 増となっている。  
歳入では一般財源の内容は個人町民税において年少扶養控除廃止等による影響で増、法人町民税も前年比増となつたが、24年度決算見込からすると減、固定資産税は償却資産、土地で増であるが、家屋で減、町税全体では前年度比2.2% (15,657千円) 増となつた。普通交付税、特別交付税は前年と同額計上された。

その結果、財源不足が生じた分は財政調整基金繰入金及び減債基金繰入金で対応。特定財源については町債の増で対応。

歳出では性質別にみると増となっている。その主なものは普通建設事業費、物件費、維持補修費などで、主な減少費目は公債費、積立金、扶助費などである。普通建設事業費は消防防災無線通信施設整備工事の新規事業が影響したもの。

物件費はまちづくり計画策定委託料や電算関連経費の増、維持補修費は文化ホール設備修繕費増などが影響した。

### 公共用地等取得造成事業特別会計

今年度は用地の先行取得等具体的な事業の予定が無いため、歳入、歳出それぞれ529千円が科目設定された。

### 国民健康保険事業特別会計

歳入、歳出にそれぞれ対前年度比8.6% (98,300千円) 増の1,241,300千円が計上された。歳出増の主な要因は保険給付費の大幅増によるものである。これに伴い歳入では国庫支出金、療養給付費交付金、前期高齢者交付金及び共同事業交付金が増加した。

### 介護保険事業特別会計

歳入、歳出それぞれ対前年度比1.0%増の891,700千円が計上された。  
高齢者の介護を社会全体で支えようと創設された介護保険制度も第5期14年目となるが、要介護認定者の増加等を見込んで前年度実績を基に算出された。

### 後期高齢者医療特別会計

歳入、歳出それぞれ対前年度比2.3%減の93,010千円が計上された。  
歳出の主なものは長崎県後期高齢者医療広域連合へ納付する事務費負担金及び保険料等納付金である。歳入の主なものは75歳以上 (65歳以上で認定を受けている者を含む。) の被保険者から徴収する保険料と一般会計繰入金である。



【議員】昨年行われた下水道の意向調査等を元に策定された「公共下水道全体計画見直し(素案)」の説明会が、公共下水道事業から外される地区(赤木・瀬戸・駄地・平似田・里)で行われ地区によつては、大変厳しい反対意見があつたが、今回の一見直し計画については、住民の意向は十分に反映されているのか。

【町長】昨年の、アンケートで早期にできる合併浄化槽を希望する意見が多かったことや、今後の減少する人口予測や財政面を考慮した。

【議員】現在の公共下水道接続世帯数・人口・総事業費と年間の維持費は、  
【水道課長】接続世帯七四五世帯・人口一九九二

【議員】転居だけといふのは、見極めが難しかつたので、広く浅く、幅を拡大しながらやつていく。【議員】奨励金が減額されることは、定住促進の政策に逆行していると思われるが。

【町長】転居だけといふのは、見極めが難しかつたので、広く浅く、幅を拡大しながらやつしていく。【議員】空き家対策として本町、金谷、東町、橋の詰地区の数の把握は、【町長】一人暮らしや後継ぎの問題などプライバシーの問題もあるが、承

## 定住促進策は



岡田伊一郎 議員

【議員】交通の要衝としての利点をいかし、持ち家奨励金の中に宅地購入費・造成費への助成、通勤可能な方への高速道路利用者への助成ができる

いか。【町長】固定資産税や住民税の免除相当分など、期限限定で助成できないか積極的に検討する。【議員】奨励金が減額されることは、定住促進の政策に逆行していると思われるが。

## 電子黒板の利用状況は

【議員】映像や音声を使った「わかりやすい授業」が行われていると思うが、空き家条例も含めて今後研究したい。

【教育長】映像を通して具体的に子どもが接することができ、授業への参加意欲・集中意欲・思考力、発表力が高まってきた。また言語活動の能力等が育えられることが生じた時、スマートにでき

【議員】基础设施整備は、基礎調査を急ぎたい。それを台帳化して、民生児童委員・消防団・役場と共にしながら対策を行いたい。

【議員】持ち家奨励金の広報として、プロモーションビデオなどを作成しテレビ放映はできないか。【町長】ホームページに指示している。空き家条例も表に出していかないと宣伝効果はない。しかし、アクセス数も少なく、町外の人にも見てもらえるフェイスブックなどの方法も活用したい。確かに宣伝不足は認め、空き家条例も含めて今後研究したい。

【教育長】導入率、教員の研修率は東京都は十五%ですが、本県は八十五%未満ということも含め、来年度の最重要課題として、推進を図っている。専用ユニットが一台しかなく十分な活用が図られるには多くの課題がある。デジタル教科書としての利用頻度が高く、活用も図られており、県教育センターや業者の方も含めた関係機関の指導をおこなっている。

【議員】学校間で授業方法などの連携は。【町長】一昨年、学習能

## 東彼杵町固定資産評価審査委員会委員の選任

住 所 東彼杵町口木田郷208番地  
氏 名 宮脇 成芳  
生年月日 昭和41年8月28日生

## 東彼杵町監査委員の選任

住 所 東彼杵町駄地郷363番地3  
氏 名 前田 幸子  
生年月日 昭和24年5月20日生

## 1 議会への関心度

「大いにある」、「少しはある」が多数でした。

## 2 町政のどの部分に対しての関心度

教育、産業振興、町民との協働のまちづくり

## ◎傍聴ありがとうございました。

町民に身近な議会、町民の声が届く議会運営に努めて参ります。今後とも宜しくお願ひ致します。

## 3 休日議会は必要か

必要との考え方方が多数でした。

## 4 休日議会に希望する内容は

一般質問を望む人が多数でした。

公共下水道事業の今後の計画は

吉永 秀俊 議員



【議員】昨年行われた下水道の意向調査等を元に策定された「公共下水道全体計画見直し(素案)」の説明会が、公共下水道事業から外される地区(赤木・瀬戸・駄地・平似田・里)で行われ地区によつては、大変厳しい反対意見があつたが、今回の見直し計画については、住民の意向は十分に反映されているのか。

【町長】昨年の、アンケートで早期にできる合併浄化槽を希望する意見が多かったことや、今後の減少する人口予測や財政面を考慮した。

【議員】現在の公共下水道接続世帯数・人口・総事業費と年間の維持費は、  
【水道課長】接続世帯七四五世帯・人口一九九二

【町長】最終決定ではない。今後、そもそも公共下水道計画がなかつた地区での説明会を実施するので、そこでの意見なども参考にしたい。

【議員】光ケーブルを利用した高速・大容量通信は役所・事業所はもちろん現在では、一般家庭でも日常生活基盤の重要なツールとなつてゐるが、本町では県工業団地など的一部でしか利用できない。光ケーブルや下水道整備はまちづくりの基本と思われるが、今後の敷設予定は。

【町長】全町的敷設には二億七千万円ほど掛かるが、光ケーブルに接続希望世帯は現状ではなく、オフトークの今後などもあるので、今のところ検討していない。

【議員】文科省では公立の小中高の週六日制の導入に向けた検討を開始された。時代がそういう方向に向かう中、庁舎でも試行的にも土曜開庁できないか。

【議員】町有地の面積と、年間の管理はどうなつてあるか。

【町長】面積は五・六一タック(五町六反)あり、草

土曜日における一部窓口業務の実施について

滝川 初夫 議員



【町長】費用対効果や需

要等を考えると、来庁者がおられるかバランスが問題である。

【議員】法面の町有地について、いつまでも維持管理だけをするというこのままでは守つていかなけれ

ばならない。管理の方法は経費節減で考えていいか

ない時期がくるのではないかと思うが。

【議員】工業団地ではフルアットの面を企業に、法面は町にというのは企業を誘致する時の条件だつたのか。

【議員】工業団地ではフルアットの面を企業に、法面は町にというの

は企業が経費節減で考えていいかと思う。

【議員】工業団地の町有地は生産性が望めない法面なので、貸地として太陽光パネルを數々詰めて、(株)ツジデンのメガソーラーと連結できないか。

【議員】工業団地を造成する上で、二十%の緑地面積と環境施設を入れて二十五%まで必要になる。その部分が法面の町有地になつてゐるので、他に使えない状態になつてゐる。

【議員】町有地の面積と、年間の管理はどうなつてあるか。

【町長】面積は五・六一タック(五町六反)あり、草



## グリーンテクノパークの町有地の利活用について



払いは年二回で百二十五万円である。

以上、これは環境の問題なので守つていかなけれ

ばならない。管理の方法は経費節減で考えていいか

ない時期がくるのではないかと思う。

【議員】法面の町有地について、いつまでも維持管理だけをするというこのままでは守つていかなけれ

ばならない。管理の方法は経費節減で考えていいか

ない時期がくるのではないかと思う。

【議員】法面の町有地について、いつまでも維持

管理だけをするというこのままでは守つていかなけれ

ばならない。管理の方法は経費節減で考えていいか

ない時期がくるのではないかと思う。

【議員】法面の町有地について、いつまでも維持

管理だけ

## 議員派遣

平成25年1月15~16日 市町村アカデミー(千葉県)

### どうなる日本経済・地域経済

講師 齊藤 精一郎 (NTTデータ経営研究所長・千葉商科大学院名誉教授)

日本デフレの原因は一にも二にも人口減少であり、人口構造（生産年齢人口：15歳～64歳と次世代の生産年齢である15歳以下が減少し、65歳以上が増加している）の変化であるとの説明を強調された。日本でも県単位では自立的経済規模としては小さすぎる（500万～700万人規模）からなる齊藤氏独自の「中間地域構想」なるものを熱弁され、現在取りざたされている道州制との対立軸を明確にされました。

### これからの政治の行方

講師 伊藤 俊行 (読売新聞調査研究本部研究員兼政治部編集委員)

安倍政権にとって、当面はTPP・原発問題・尖閣問題にはふれず経済再生を優先とする政権運営がなされるとの予測を話されました。また、小泉政権以来毎年のように総理大臣が交代する現状を顧みると、政治家が相対的に小粒になった事は否めないと思われる。

### 地方議会の役割と改革の行方

講師 廣瀬 克哉 (法政大学法学部教授)

地方議会は「機関としての議会」これまでの議員あって議会なしの状況から機関としての議会の存在意識を示すべきであり、市民からの要望・相談は議員ではなく議会として取り扱うのが本来の姿ではないか。

### 東日本大震災における被害状況（アカデミー研修後 17~18日）

派遣場所 宮城県松島町他

松島町議会の対応については、震災日がちょうど議会定例会中であったが、会期を1日残して閉会し、その後、東日本大震災復興対策特別委員会を設置し、町独自の放射線量測定、義援金配分の独自策を緊急提言書としてまとめ町長あてに提出された。

議会の反省と今後の課題として、災害時における議員の行動マニュアルがなく、各地区で議員各自の判断で行動した。議会として災害対策本部を設置することができる条例制定や設置要綱を早急に整えるよう努める。町の災害対策本部に対し、議員各自がバラバラに行動し多様な要求・意見を申し入れることで迷惑をかけることとなることから、行動を控えた議員もいた。被災者の心情として、地域にもっと顔を出してもらい困ったこと等相談したかったという事であり、最善の努力をしたが、燃料不足などもあってできなかつたことが反省点であるとのことであった。

被災地現場を視察中、多くの児童が亡くなった小学校に立ち寄り、視察者全員で鎮魂の碑にお参りをしましたが、言い表しようのない感情がこみ上げ、自然の脅威に対する人間の無力感を痛感しました。



鎮魂碑が建立された大川小学校校舎（宮城県石巻市）